



臨嶺会会報

第 32号

2011年春発行

目 次

特集「臨嶺会会員の近況報告」	… 2～15
カミングホームデー	… 16
卒後40周年 衛検2回生	
最近の検査「樹状細胞療法」	… 17
松本便り	… 18
こじ記	… 18

卒業生の進路	… 19
事務局からのおしらせ	… 19
お詫びと訂正	… 19
2010年のできごと	… 20
編集後記	… 20

特集「臨嶺会会員の近況報告」

前回より復活した近況報告。

全会員が参加できる会報の原点と言ってもよいこの企画。

皆さん、どのように感じられましたか？

現役バリバリの会員をはじめ、専業主婦として、

また子育てを終え仕事に復帰した会員、定年後の第2の人生などなど、
年代を超えた様々な人生観が見て取れることでしょう。

今回は400字程度と字数も増やし、

思う存分書いていただきましたので、どうぞお楽しみに…。

信州の宙（そら）

熊谷（牛越）順子

衛 1回生

多くのトラブルに遭いながら、7年かけて地球に戻った“はやぶさ”。成功の陰で苦労されてきた多くの方々の祈るような気持ちが私に伝わったのか、機械といえど、その最後の姿に涙が出ました。数年前の「地球の出」の感動。そして大学生が作った小型衛星の打ち上げ成功と胸がワクワクしました。

宇宙といえば、幼い頃お風呂に入る時に見た、満天の星空を思い出します。空一面にピッシリと星が広がって、その輝きの大きさに一瞬恐怖を感じました。又、夕空に見たソ連の人工衛星、木々に挟まれた、狭い裏道一杯の蛍に息を飲んだことなど忘れられません。

猛暑のこの夏、出産で里帰りした娘にとっても、夏休みの一週間の田舎の生活は、最高の宝物と言っていました。それぞれ思い出は違っても、子や孫達に信州の良さを伝えたいと一致しています。来年、孫達と田舎に行けば、満天の星空が迎えてくれることでしょう。

（次号：柳平（太田）きみ子）

茶道に心を寄せ

小嶋（宮沢）紀子

衛 2回生

定年退職して2年目。細胞診断の束縛から解放され、変わりつつある自然と同化できる自分に安堵する毎日を送っています。家庭菜園の土いじりや家の中のことを時には手抜きしながらも、気持ちよく生活できるように配慮する事に幸せを感じています。そして退職して一番やりたかった事—茶道に今、心を寄せています。初心者の私には見えない事だらけですが、「螺旋階段を昇るように精進していくものですよ」と教えを受け、その意味を噛みしめながら稽古に励んでいます。なぜ？と疑問だったことが、書物で調べたり回を重ねる毎に少しずつ分かってきて頭の中で絡んでいた糸が一寸解かれてきた感じです。茶道は奥深いとの観念が更になり強くなりました。が、お点前の所作の奥に潜む先人達の心に少しでも近づけたらと思う今日この頃です。ゆっくり着実に、出来たら全てに精進していきたいと思っています。皆様の御健康とご多幸をお祈りいたします。

（次号：碓田（小町谷）恭子）

特集「臨嶺会会員の近況報告」

春にはわらび採り

伊藤（伊藤）美春

衛 3回生

30年間過ごした埼玉から信州に戻り4年になりました。改めて信州の自然の美しさに見とれています。殊に間近にそびえ立つハヶ岳は、えもいえぬ美しさで見慣れてきても思わず見入ってしまうほどです。

自分の傲慢さと恥ずかしさを感じるのもこの時です。昔はこんな事を思わなかったのに、年を重ねたせいなのでしょう。

主人と二人暮らしですが結構楽しくやっています。春にはわらび採り、秋には茸狩りと収穫はあまりないのですが山歩きを楽しんでいます。時には寄席や演奏会、映画などに付いていき楽しんでいます。毎日の生活は単調ですが、不思議に何か満たされていて今が一番いい時なのかもしれません。いつまでも続きますようにと思わずにはいられません。

この土地に来てまだ浅いので地域の中に少しずつ根付いてゆきたいと思っています。
(次号：木村（加藤）恵子)

4人の孫のばばちゃん

玉城（酒井）百合子

衛 4回生

皆様お元気ですか。大変ご無沙汰しています。結婚後横浜に移り住んでから時の経つのは早いものでもう4人の孫のばばちゃんになってしまいました。仕事はずっと続けていましたが、十数年前からクリニックや企業等の超音波検査を派遣技師として行っています。エコーは毎日未知との遭遇です。飽きることはありません。やればやる程奥が深いものです。特に乳腺は癌に直結するものなので、責任も重大ですがやりがいもあります。

同窓生の皆様もエコーを修得して一線でご活躍下さること願ってやみません。

(次号：関谷（仁木）久美子)

将来は自給自足が目標！

松尾（石沢）純子

衛 5回生

アラカン世代ということでしょう。懐メロ番組にぴったりはまり、運動不足になりがちで年々体力の衰えを感じるばかり。40年前には想像すらできなかったことです。5回生の仲間とも「気持ちは20代の時から変わらないね」と話すのですが、老眼鏡を探しながらの生活で、親の面倒を見るのも大変になってきました。最近の楽しみは、友人や家族との小旅行や食事会、時々美術館や芸術館、コンサートホールに足を運びます。お天気のいい日には山の畑で野菜作りに汗を流し「将来は自給自足が目標！」とばかりに、様々な種を蒔き苗を植えています。虫、鳥、動物に食べられたり、水くれや草取りなど天候に左右されることが多くなかなか難しいものです。でも採れたての新鮮野菜を食べた時は苦労も報われますので、これからも姉夫婦や母、主人も一緒にワイワイ楽しく気長に続けていきたいと思っています。

(次号：静香ちゃん)

特集「臨嶺会会員の近況報告」

学会を地元佐久大学で

池田昌伸
(佐久総合病院)

衛 6回生

この4月より病院管理者の一人になり、慣れない業務に戸惑いながらの毎日です。病院再構築、人事、経営改革と早朝からの会議続きで、本業の検査が出来る日は僅かです。そんな中、この10月に第37回長野県臨床検査学会を地元佐久大学で開くことができました。今、検査室は元気がないと言われており、なんとか前向きにとタレントの三四六さんに「人生アゲンスト」というテーマで公開講演をお願いしました。また、懐かしいオカリナの演奏なども取り入れました。やや、本来の学会スタイルではなかったですが好評でした。

おそらく、これからも日本経済が豊かになるとは思えませんし、私たちの年代は仕事のみならず家庭でも親の介護などでストレスは溜まる一方です。検査技師の仕事も多様化していますが、チーム医療を担う一員として発展できるよう、残された時間は人材育成に使おうと考えています。

(次号：中平房子)

山々を眺めつつ

野沢（御子柴）もりえ

臨 1回生

夫の転勤で長野県外に居ましたが、23年ぶりに、長野へ戻ってきました。こちらでの生活も落ち着き、美しい山々を眺めつつ、野菜や花作りを楽しんでいます。

(次号：石川（小松）順子)

聴覚障害、要約筆記

千原（脇坂）恵子

臨 2回生

4年ほど前、聴覚に障害のある方の話を聞く機会がありました。外からは分かりにくい障害であるがゆえの不便さ、手話ができる人は聴覚障害者の2割に満たず、文字による情報保障の需要が高いことなどを、その時初めて知りました。

パソコンの文字入力が少しできるので、軽い気持ちで『パソコン要約筆記』のサークルに入り、勉強し始めました。「聞く→要約する→読みやすく表出する」に即時性、正確性が求められます。長い間家にこもってのんびりしていた私には至難のわざですが、不便が少なくなる人がいるならば……と、続けてみようと思っています。

少しずつ認知されはじめては来ましたが、まだまだ知れ渡っているとは言い難いので、この場をお借りしてこんな活動もあります、とご紹介がてらの近況報告でした。

(編集委員会推薦 次号：森下（米川）邦子)

特集「臨嶺会会員の近況報告」

ケアマネ挑戦

早出（青山） 令子

短 1回生

お久しぶりです。出産で退職しすっかり検査から離れてしまい自分の検診結果もいいのか悪いのかさえよくわからないこの頃です。

現在は小さなデイサービスで介護職から事務から相談員まで何でもこなすおばちゃんです。50歳を過ぎ介護福祉士の国家試験を受け、今度は介護支援専門員（ケアマネージャー）の資格試験に挑戦しようと錆付いた頭に油を差しながら日々参考書を眺み付けています。が今読んだところもすぐ忘れてしまい年を感じます。

一番下の子も成人となりとは言ってもまだまだ貧乏神ですが、歩けるうちに富士山・尾瀬・屋久島などなど行きたいなあと日々1時間ほど歩いて足腰鍛えてます。一緒に下さる方お待ちしております。

皆様お身体に気をつけ、ご活躍されることお祈り申し上げます。

（次号：小島（鳥羽）由美子）

ミニトマト、ナス、 キュウリ、オクラ

小林（大内） 美恵子

短 2回生

皆様、お元気ですか。今年の夏は猛暑で大変でしたね。我が家の家庭菜園は、夫が追肥や水くれをこまめにしたためか、豊作でした。収穫は私がするので、仕事が終わってから、暑い中、とり残しのないようにすると、時間がかかり大変でした。でも会社の人や近所の人にもおすそ分けができました。ミニトマト、ナス、キュウリ、オクラなどです。特にトマトは甘酸っぱくてとてもおいしかったです。

夫は、本当に小さいですが、プラスチック部品を製造している会社を経営しています。私も結婚してから、一緒にやっており、家庭と会社の仕事を何とかやってきました。こんな世界状況の中、どうなるかわかりませんが、夫に付いて頑張るしかありません。3人の子供がおりますが、一番下の息子が結婚し24歳で父になりました。自分の子供ができた時のことを思い、みんな、この繰り返しなんだと思うこの頃です。

（次号：吉村（大橋）真弓）

病院検査室で

轟（藤本） 智子

短 3回生

卒業してもう32年。3年前には、久しぶりの同級会が長野であり、19人も集まりました。逢うと皆、学生時代に戻ってとても楽しかったです。仕事は子育てで休んでいましたが子供が小学校に入った頃から長野県健康づくり事業団で心電図検診や検尿等の検診業務に携わっています。2年前から縁があって病院検査室内での仕事もさせてもらっています。病院検査室にいるいろいろな情報が入り刺激的で楽しいです。我が家では、看護大学で学んでいる長女そして臨床検査技師、診療放射線技師を目指して大学受験真っ只中の双子の娘達がいます。親と同じ医療の道を選んでくれてちょっと嬉しいです。娘達から学ぶこともたくさん！オープンキャンパスでは懐かしい信大の教室、先生方に逢えた事で私も楽しかったです。校舎の外の樹木の大きなことに年月を感じました。まだまだ成長していきたいなと思っています。

（次号：金丸（吉川）登喜子）

特集「臨嶺会会員の近況報告」

老眼鏡をちょっと 強くして

園原（楯）美恵子
（飯田市立病院）

短 4回生

就職してもう30年過ぎました。自分の子供と同世代の後輩たちと仲良く働いていますが、若い人たちと比べるとかなり記憶力と視力が落ちてきました。採血の時は老眼鏡をちょっと強くして、技術の衰えは話術でカバーして涙ぐましい努力をしています。30年振り返って大きな功績も残してはませんが、病気もせず働き続けてきたことに自分でびっくりしています。あと10年弱、定年あるいは子供たちが独り立ちできるまでなんとかがんばっていこうという気持ちだけはありますが。ローテーションではほぼ一回りしてふた回りめの血液を担当しています。飯田ではどういうわけか悪性リンパ腫が多くみられます。高齢者が多いということでしょうか。また磁場のせいだという人もいますが、いま流行のパワースポット“分杭峠”は下伊那と上伊那の境にあります。飯田からは2時間くらいで行けますが、ゆっくり時間ができたらパワーをもらいに出かけてみようかと思っています。それではみなさんお元気で。

（次号：木内（中沢）直子）

ドッキン、ずっきん、 キュンキュン

春日（八尾）直美

短 5回生

ご無沙汰です！ お元気ですか？

私は 今 大学病院の医局で実験秘書をしています。まあ、雑用のおばさんというところでしょうか。

さて、皆様 恋してますか？ トキめいてますか？ 人でも物でも事柄でも何にでもいいです。やっていると、見ると、想像しただけで、何かドキドキ胸キュン！ このトキメキ若さを保つのに効果あり だそうです。みなさん、しぼんで、枯れてしまわないよう 恋しませんか！ ときめいてみませんか！！ えっ、私ですか？ もち、キムタクに松ケンに山Pにニノに、医局の若い先生に、そう 世のイケメンズにドッキン、ずっきん、キュンキュンです。

ときめきのススメでした。

（次号：林（小口）悦子）

私のキッチン

山脇（降幡）江実子

短 6回生

家のキッチンは8畳のダイニングキッチン。家庭菜園で採れる野菜と実家や裏山の食材で、いろんな料理ができてくる。春は山菜。たらの芽の天ぷら、こごみのおひたし、わらびの煮物、ふきの佃煮。夏はトマトのミートソース、ずんだもち。秋は大学芋、裏山で拾った栗のモンブラン、きのこ汁、息子の取ってきたイナゴの佃煮、白菜キムチやたくあん、干枚漬。冬はあずきを煮ておしるこ。菜園の大豆の味噌はいい香り。野本先生から「実験度胸がいいですね。」と言われる私は準備も適当で、考えずにどんどん料理するので、ときどきひどいものを作ってしまふ。でも、庭のラズベリージャムや農家で分けてもらった紅玉でアップルパイを作ると、部屋中に甘い香りが立ちこめて最高に幸せ!!

今は大学生・高校生の息子のためにフルタイムで働くので、ゆっくり畑や料理もできない。信州の自然を楽しんで、地元季節の味を大切にしたい。

（次回：金井（関）敬子）



特集「臨嶺会会員の近況報告」

同僚と子供3人で
北京に行き

馬場（相沢）ひさみ
（長野赤十字病院）

短 7回生

今、やってみたいと思っていることは、中国語です。もう6、7年前になりますが、長野市と友好都市（姉妹都市では上下関係ができるので中国ではこういいます）提携をしている石家荘市から Dr が当院の血液内科に研修に来ました。先生が「是非中国においで下さい。」と言うので、同僚と子供（当時小2）の3人で北京に行き、北京動物園に連れて行ってもらいました。行く前に2年間カルチャースクールで中国語を習ったのに、上達しないまま、北京に行った後はやめてしまいました。先生の娘さんが大学に合格したら、今度は日本に来てほしいので、もう一回挑戦しようと思っています。今、何かと話題の中国ですが、個人のレベルの交流はなくなるようにと願っています。

（次号：北村弘文）



黒猫が住み着いた

海野（塩原）正子

短 8回生

2、3ヶ月前から我が家に黒猫が勝手に住み着いた。眼が鋭く動きが素早い。主人が可愛がっている老犬ウィンティの餌を盗み食いし、スキあらば家に上がり込み仏様のご飯までたらいげる始末。拳句の果てに私が可愛がっている愛猫チロルに傷を負わせ、猫派のはずの私であったが何とも小憎らしい存在のクロである。この気持ちをよそに我が家の老犬ウィンティはお隣のチーコちゃん（チロルのガールフレンド）にさえ一応吠えるのに何故か吠えない。そして喧嘩ばかりだったチロルまでも変化が……。クロの声も喧嘩声じゃあない。あれれ？ 受け入れ出しているの？

我が家の愛犬愛猫たちは、私に何事（自分に不都合なことさえ）も受け入れることだよ、と教えてくれているのかナァ……。年を重ねるにつれ、頑固になってゆく自分です。困ったもんだ……。

（次号：堤（長崎）紀美子）

細胞検査士の試験合格

平田幸子
（市立甲府病院）

短 9回生

就職して20数年経過し、現在は、病理検査を担当しています。やっと2年前に細胞検査士の試験に合格しました。形態検査は、学生のころから苦手だったので、大変で、まだまだです。また病院では電子カルテが導入され、就職したころとは、検査結果の報告の仕方も様変わりし、時代の変化を感じるこのごろです。職場では、短2回生卒の先輩である三上（麦島）美恵さんと共にがんばっています。気持ちが落ち込むことも、しばしばありますが、学生のころの気持ちも忘れずに、やっていこうと思います。

（次号：森下（坂）みゆき）

特集 「臨嶺会会員の近況報告」

明るい笑顔

大池千史
(相澤病院)

短10回生

相澤病院のがん集学治療センターで受付会計の仕事をしています。センターを訪れるのは、化学療法やトモセラピーなどの治療を行う患者さんです。自分の病気に対してまだ受け入れられないでいる患者さん、上手く付き合っていないと前向きな患者さん、涙する家族もいて、そういう方々と接することの難しさを日々感じています。ただ、まず患者さんは受付にいる私達の顔を見るのだから、いつも明るい笑顔で迎えてあげようと心掛けています。「いつも笑顔で迎えてくれてありがとう。」「ここへ来るとホッとします。」と言ってもらえると、うれしくて逆に元気を与えてもらっています。

(次号：早川(内田)美代子)

ブチ同窓会

佐藤金夫
(山梨大学医学部臨床検査医学講座)

短11回生

◆皆様、お元気ですか？ 現在、私は医学部の講座に所属して学生さんの臨床実習と血小板研究の二本柱で頑張っています。

◆我が家には二人の息子がいて、小6の息子とは地元のテニスサークルと一緒に所属し、週末には汗をかいています。幼稚園で覚えた歌を大声で聴かせてくれる4歳の次男、昆虫系が大好きで見つけると捕まえずにはいられないようで、虫嫌いな母親の悲鳴も我が家では大きく響いています(笑)。

◆10月初旬、神戸で学会があり関西近辺の同級生に声を掛け、ブチ同窓会を企画。9名の懐かしい面々が揃いました。早いもので卒業してから24年、それぞれ悲喜こもごもの人生が語られ、しみりりとなる話題もありましたが、ここでは書けない有り得ない話題がいくつも飛び出し大いに盛り上がりました。(こんなに笑ったのはどれくらい前だったかなあ)

今度は別の地区でも企画するので、その時は都合つけて集まってね。
(次号：吉川(野村)美津子)



ホメオスタシス

山内一由
(筑波大学大学院 人間総合科学研究科)

短12回生

昨年4月から筑波大学に勤務しています。実に4箇所目の職場です。生来、落ち着きがない性質(たち)で、通信簿の所見にもよく書かれ、母に叱られたものです。しかし、落ち着きはありませんが、組織に対する忠誠心が欠落しているわけではありません。

前職の信州大学病院臨床検査部では、一年に何度も送別会と歓迎会が開かれていました。内情を知らない人から見ると奇異に感じるかと思いますが、人事が活発なのは組織が生きている証拠だと私は常々思っています。人間の細胞と同じです。日々私たちの体の細胞は壊れては新しい細胞が作られていきます。そんな変化を繰り返しながらも、健康な人の臨床検査値はごく僅かしか変動しません。本当は激しく変化しているけど、その変化が見えない。ホメオスタシスです。しかし、一旦、活動が停止すると臨床検査値は劇的に変化します。心肺停止時のデータがまさにそれです。職場の人事も同じで、ひとたび動きが止まれば、衰退します。確実に成長は止まります。それは個人個人にも言えることです。

職場を転々としている言い訳になってしまいましたが、卒業して23年、一貫して変わらない私の考え方です。ただ、人の体の中には再生がきかない細胞もあります。悲しいかな、最近、その影響をとみに感じています。

(編集委員会推薦 次号：池上(青木)明子)

特集「臨嶺会会員の近況報告」

五合目

河合正行
(甲府共立診療所)

短13回生

仕事をはじめてから退職するまでの期間を考えると丁度今は半分である。マラソンで言えば折り返し地点。山梨に住んでいるからではないが登山で言えば5合目である。折返し地点と言うよりは富士登山5合目と思っている。5合目までは、道も整備されており車でも登ることが可能である。しかし、5合目からは自分の足と体力で登らなければならない。今まで仕事は色々な方々に教えてもらってきた。今後は、更にスキルアップを図りながら後輩への道筋を示していかなければならないと思っている。

今まで色々な経験をさせて頂いたお陰で、信州心エコー図セミナーの世話人もすることとなりました。卒業後、松本へは行く機会が無かったのですがこれからは年に一度は松本にも行けそうです。

(編集委員会推薦 次号：町田(阿部)敬子)

たくましい母に

中村(中谷)悦子

短14回生

御柱と子供の社会体育に追われ、多忙な日々を過ごしています。ほとんどの週末は屋外で過ごし、子供と一緒に走り回っている姿は、学生時代には想像も出来なかったものであり、我ながらたくましい母になったなあと感じるこの頃です。

仕事は、職場の理解と家族の協力の下、以前の勤務先にパートとして復帰して3年がたちます。採血室や健診という多くの人と接する仕事が多い中で、一度退職し、病院にかかる側だった私だからこそできる声のかけ方があるのではと、模索している毎日です。

(次号：仲田明子)

大学の研究室でパート

葛城(板倉)裕子

短15回生

卒業後、検査センターに就職、6年半働き、結婚退社し暫く家に居ましたが、夫の両親と同居することになり必至で就職先を探し今は大学の研究室でパートをしています。1年毎の契約更新なので毎年ドキドキしています。子供は小学5年生と4歳で年齢が離れているので1人っ子が2人いるみたいです。保育園の送迎がやっと終わる頃に2人目が生まれたので保育園に9年近く通っています。朝は時間がないのでいつも大変です。下の子が小学生になったら少し時間の余裕ができるかもと期待しています。

(次号：土田(岩田)博子)

特集「臨嶺会会員の近況報告」

臨床細胞学会軽井沢大会

中山朋秋
(佐久総合病院)

短16回生

私は日頃、JA長野厚生連佐久総合病院で病理検査に携わっています。現在、当院の石亀廣樹病理部長が日本臨床細胞学会長野支部の支部長を、病理部がその事務局を担当しています。そして幸いにも今回大きな学術事業を経験させていただく機会に恵まれました。それは第24回日本臨床細胞学会関東連合会学術集会（石亀廣樹学会長）を残暑の厳しい中、9月18日（土）に軽井沢プリンスホテルウエストで開催したことです。当会は関東甲信静越1都10県約3600名の会員を擁する最大規模の連合会で、臨床細胞学の進歩と普及を目指し年1回輪番制で学術集会を開催しています。今回の軽井沢大会では信州大学医学部太田浩良教授にも教育講演でご講演いただきました。予算の少ない中、長野県会員のみならず皆様のご協力のもと今学会の事務局長を経験することができ、大きなハプニングもなく学会を無事に終えることができました。この経験を今後に生かせればと考えています。

(編集委員会推薦 次号：村下(原)ちなつ)

追っかけ兼マネージャー

赤羽(川上)由紀
(信州大学医学部)

短17回生

子育ても折り返し地点を過ぎ、後半戦の真っ最中です。高2と中2の子供は手がかからなくなりましたが、無事(?)反抗期を迎え、毎日が、笑ったり泣いたり悩んだりの戦いです。憎まれ口を言われながらも、子供の行事に顔を出し、追っかけ兼マネージャーをする生活も、早10年程となりました。そういう事が出来るのも残り数年しかないと思うので、一日一日を大切に過ごしたいと考えてはいるものの、今日も家に帰ればバトルは続きます。

現在の私のささやかな夢は、子供が巣立ったら自分のための時間を作り、ゆったりと過ごすことです。

(次号：磯村亜子)

三国志が大のお気に入り

青木義政
(九州大学医学部附属病院)

短18回生

早いもので福岡に移り8年が過ぎました。この間にも新しい家族が増え、現在は5児(上4人の男児と姪)の父親となり、家庭はたいへん賑やかな状況(非常に騒がしいとも言う)です。

さて、趣味を披露せよとのことですが、私の場合読書くらいしかありません。好きな作家は北方謙三でして、これまでほぼ全ての作品を読んだだけでなく、同じ作品を何度も繰り返して読み続けています。ハードボイルドの作品も好きですが、歴史小説、なかでも全13巻の(北方)三国志が大のお気に入りです。北方の三国志は史実を忠実に記述しているだけでなく、各登場人物の心をも丁寧に描いているため、読んでる間の感情移入が半端ではありません。ただし、この作品はあまり人に薦められません。というのは、夢中になりすぎて睡眠不足に陥ること間違いなく、生活や仕事に支障を来す恐れがあるからです。それでもよいという方はぜひ一読を。

(次号：中上(岡村)奈美子)

特集「臨嶺会会員の近況報告」

この場をおかりして、
お礼を

中島英恵
(長野市民病院)

短19回生

現在は縁あって長野市民病院に勤務し、微生物検査を担当しております。昨年度からは、長野市医師会の看護学校（長野看護専門学校）で微生物学の講義にも従事させて頂いています。また一昨年より、近隣の病院の方々とMRSAに関する検討を進めております。いずれも、今の私の上司（亀子といいます）や、これまで私を導いて下さった方々、現在御指導、御協力をして下さっている方々のおかげで、このような機会に恵まれたのだと思っております。でも普段は、私が素直でないことや、近くにいていつでも言えるから、等々の理由づけをして、面と向かってきちんとお礼を言うことが出来ておりません。

この場をおかりして、お礼を述べさせて頂きたいと思います。改めて「いつもありがとうございます。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。」

(編集委員会推薦 次号：中野（八木）朝子)

フィットネスクラブに
入会して

藤井（宮入）麻衣

短20回生

臨床検査技師の仕事を離れてから、2年が経ちます。時間的に余裕ができたので、思い切ってフィットネスクラブに入会してみました。当初は運動不足解消のために始めたのですが、次第に私の心に火が点き、会費の元を取るべく毎日のように通い詰めるようになりました。運動が苦手の私にとって、こんなに熱心に体を動かすのは中学の部活以来の事です。とはいえ、今ではその熱もすっかり冷めてしまい、他の興味に向けられています。ささやかではありますが、今は自由な時間を自分のために使える贅沢を満喫しています。

(次号：知久（須藤）めぐみ)

ふたりの母ちゃん

森本（高橋）友美

短21回生

病院や保健所で仕事をさせていただいたあと、出産のため退職しました。在職中はたくさんの方にお世話になり感謝の気持ちでいっぱいです。

今は年少ともうすぐ2歳になる男の子ふたりの母ちゃんです。手を焼くこともしばしばありますがかわいい子供たちです。野球をしたり、電車で遊んだり。毎日バタバタと騒がしく楽しく過ごしています。

(編集委員会推薦 次号：一瀬（中澤）悦子)

特集「臨嶺会会員の近況報告」

個人医院で毎日患者さんと
顔を合わせ

小林真紀
(上村医院)

短22回生

早いもので短大を卒業して13年が過ぎ、松本を離れ地元“新潟”に帰ってきてから8年が過ぎました。新潟に帰ってからの8年間は、“大雨”“地震”と大きな災害が次々と起こりました。幸い私の周りでの被害は少なかったものの、他県の方々からの支援のありがたさを感じ、また被災した方々の粘り強さを感じた8年間でした。

そんな中、私は地元の個人医院で臨床検査技師としての仕事を続けています。臨床検査技師は私一人しかいません。病院のような大きな機械などはありません。しかし、毎日患者さんと顔を合わせ、会話をしながら仕事をしています。患者さんが来院してから帰るまでの様子を見ることができる！ 病院では難しいことですが、医院での良いところではないかと思っています。臨床検査技師ではめずらしいのではないのでしょうか？ これからも貴重なこの経験を大切に、日々臨床検査技師として頑張りたいと思っています。

(次号：江原(宮坂)淳子)

淑女の方募集、
山形はいいところ

佐藤直仁
(山形大学医学部附属病院)

短23回生

皆様お元気でしょうか？ 卒業してから、10数年が経ってしまいました。私は今、出戻りで山形大学医学部附属病院検査部にお世話になっております。卒業して就職してからは、生化学検査一筋でやっています。県の生化学研究班に入り7年位経ちます。その間、免疫検査分野長をやり、今年からは臨床化学検査分野長になりました。今年の夏は、県の精度管理でアップアップしていました。ルーチンの仕事と技師会の仕事と自分の研究とで1日1日があっという間に過ぎていきます。できの悪かった私がここまでやれるのは、多くの方々に出会い、支えて頂いているからと実感しています。この会報で、卒業生の活躍を見ていると自分のやる気も120%アップします。まだ独身貴族を謳歌中です。早く何とかしないと・・・。全て(?)受け入れますので、淑女の方の応募お待ちしております。山形は、冬の寒さと夏の暑さに目をつぶればいいところですよ！！

(編集委員会推薦 次号：甲田美和)

フットワークは軽く！

池田有利
(大阪医科大学附属病院)

短24回生

卒業後、故郷大阪へ戻り10年ほどたちました。近況ですが、8年半勤務した救急病院を退職し、現在は大阪医科大学附属病院生理検査室に勤務しています。仕事でのモットーは「フットワークは軽く！」。検査室内の業務にとどまらず、耳鼻科での聴力検査、泌尿器科での排尿機能検査、手術室での術中モニタリング、院内二次救命処置コースでのインストラクター等、院内を飛び回っています。

去年はISO15189の取得、今年は病院機能評価Ver.6.0受審の書類作成に追われ、現在は来年の生理検査システム導入に向けての準備に大忙しです。が、仕事終わりには同僚達と何かと理由をつけて夜の街へ繰り出したり、週末にはフットサルやゴルフの打ちっ放しで体を動かしたり、あとは大阪在住の某医短同級生たちと食事へ行ったりと、息抜きも忘れていません。

同級生のみなさん、大阪へお立ち寄りの際はご一報ください。ディープな大阪の街をご案内します♪
(次号：多加喜アスミ)



特集「臨嶺会会員の近況報告」

初めて専業主婦となり

中村（松林）香織

短25回生

早いもので卒業してから10年が経とうとしています。昨年結婚し、故郷を離れ遠く岡山へ嫁いできました。現在は第一子を妊娠し、初めて専業主婦となり、ゆったりとした時間を過ごしています。バリバリと仕事をしていた頃と比べると、物足りないことも多い毎日ですが・・・せっかくなので来年の出産まで、マタニティライフを満喫するつもりです。出産後はもう一度、バリバリ働きたいと思っておりますが、この不景気・・・簡単ではなさそうですね。

（次号：坂本（片山）恵）

仕事の前よりも楽しく

中嶋（青柳）郁美
（キッセイ薬品工業(株)）

短26回生

卒業してから現在まで、キッセイ薬品工業に勤務しています。2年前に第1子を出産し、1年間の育児休業を経て会社に復帰して1年が経ちました。保育園に子供を預けての会社勤務は毎日がとても慌しく過ぎていきます。それでも、子供がいることで仕事の前よりも楽しくなりましたし、限られた時間だからこそ自分が本当にやりたい事をやる！ということに貪欲になってきた気がします。一番大事なのは家族。それを忘れずにコツコツ楽しみながら頑張りたいと思います。

（次号：藤島章義）

またみんなで旅行しよう！

清水千恵
（ツチャ・エンタープライズ）

短27回生

卒業して8年になります。今の検査センターにも就職して8年になるということです。早いものです。医短の大先輩の古池副社長を筆頭に先輩方には迷惑もかけながらなんとか過ごしてきました。お世話になってます。

卒業してからも年に2回くらいは短大時代の友人と集まっていました。今年は友人の一人に子供がで

きたので、全員では集まれませんでしたが、また会いに石川に行こうと思っています。

今もみんなで集まると、もうアラサーなのに(!!)短大時代に戻ったような気分になるんです。ノリが(笑)いい友人に会えたなと思っています。またみんなで旅行しよう！

（次号：北川（上谷）一美）



特集「臨嶺会会員の近況報告」

詳しくなるのはアンパンマンについてばかり

大坪（高尾） 絢

短28回生

2歳の娘に振り回され、詳しくなるのはアンパンマンについてばかり……。在学中に思い描いたものとは全く違う現在ですが、娘の屈託のない笑顔に幸せを感じる毎日です。あと数日で生まれそうな第2子を家族で楽しみにしています。今度の性別はどっちかなあ……。楽しみです。

（次号：山口美香）

ギャップ

伊井亜佐美
（上伊那生協病院）

短29・
30回生

転職して半年がたちました。前の病院とのギャップが大きすぎて、戸惑うことが多いですが、なんとか頑張っています。以前は生理検査を担当していましたが、今は他の検査もやるようになり、病気を多方面から見れるようになったと思います。自分の自由な時間がたくさんできたので、リフレッシュしながら仕事を続けていけたらいいなと思っています。

（編集委員会推薦 次号：山下（伊東）美帆）

昔の思い出話に花が咲き

工藤裕美
（県立阿南病院）

保1期生

皆さんは卒業後、同窓生と会っていますか？
おそらく多くの方は、しばらく長い間会っていないと思います。皆の活躍ぶりや、現在の様子は気になりますが、私はたまに友達とメールのやり取りをする程度です。
そんな私ですが、先日、仲のよかった友達と温泉旅行に行ってきました。今の状況を報告しつつ、昔の思い出話に花が咲き、話題が尽きませんでした。皆、大学時代と変わっていないなあと。（自分が一番変わっていないのですが…）
これから、仕事の変化があったり、結婚して家族ができたりして、それぞれの立場や環境は変わっていくのだろうと思いますが、いつまでもこんな関係でいられたらいいなと感じました。

（編集委員会推薦 次号：藤澤（小澤）絵里香）

特集「臨嶺会会員の近況報告」

臨床工学技士（ME、CE）
として

梅田修平
（名古屋大学医学部附属病院）

保 2期生

稲葉さんより推薦されました、梅田修平です。歴史ある（？）臨嶺会の近況報告の企画第2弾にして、卒業後、臨床検査技師の職についていない僕が書くのも若干違和感がありますが、近況を報告します。現在、ある病院で臨床工学技士（ME、CE）として働いております。主にアンギオ室、透析室、OPE室・ICU、外来・病棟などに行き、サボっています（笑）。もちろん仕事もしていますが…。詳しい臨床工学技士の仕事内容が知りたい方は職場にいる臨床工学技士さんに聞いてみたり、webで検索してみたりしてください。今後は臨床工学技士の知名度が上がり、そして信州大学医学部保健学科臨床工学技術専攻が1日でも早く設置されるように臨床工学技士として頑張っていこうと思います。最後に、携帯電話のメモリーが全部消えてしまったので、僕のアドレスを知っている方はぜひメールを送っていただけると幸いです（アドレスは変わっておりませんので）。

（次号：梨本（森）博美）

松本が懐かしく

大塚仁美
（県立新居浜病院）

保 3期生

働きはじめて約一年半がたち、仕事にも職場の雰囲気にも慣れてきました。主に一般検査と生理検査を担当しています。患者さんと接することが多く、最初はやっていけるか不安でしたが、なんとか頑張っています。といっても失敗は多々あり、フォローしてもらいながらですが…。

今年からは糖尿病部会の一員として新しい取り組みに参加しています。まだまだ覚えること、知らないことがたくさんあるので、一歩ずつ前進できたらと思います。

最近香川県の小豆島に旅行に行ってきました。名前の通り小さな島で、島の観光地はほぼ回ることができました。船に乗って、美味しい料理を食べて、景色を見て、サルに会って、温泉に入ってゆっくりしてきました。

私は愛媛で就職したので、先生方やクラスのみんなに会う機会があまりなくて少し残念です。松本が懐かしく感じます。

（次号：長谷川陽子）

日常教務が終わった後に

新井慎平
（信州大学医学部附属病院）

保 4期生

無事国家試験を通過し、晴れて今年の春から信州大学医学部附属病院臨床検査部で働くこととなりました。そもそもこの進路に落ち着くまでにいろいろな悩みがありました。将来の進路を考え始める学部3年時には細胞診養成学校に進みたいと考えていましたが、4年時の臨地実習を経験したことでいろいろな分野にも興味が湧いたことと、卒業したらすぐにでもこの職場で働きたいという気持ちが強くなりました。どちらの進路にしろ、大学院に通うことは自分のなかで決めていたので、研修生としていろいろな部署で働きながら大学院にも通えるという卒業臨床研修シニア前期コースはかなりの魅力的な制度でした。今になって考えると臨地実習の経験が私の人生にとって大きなターニングポイントだったと思います。現在の生活は、日常業務が終わった後に研究をするという学生時代とは比べ物にならないほど充実しています。同じ志を持った仲間のみなさんがたくさんいる職場で私も日々頑張っています。

（次号：西雄一貴）

幹事の都合で1年遅れ、それも期も押し迫った3月27日に「浅間温泉・ホテルおもと」にてカミングホームデーを催しました。

衛検2回生は県内在住12名（北信6名、中信2名、南信4名）、県外在住7名、不明1名ですが、今回の集いには9名の参加者を得て、それも県外者3名（山形県、神奈川県、群馬県）が駆けつけてくれ、幹事として非常に嬉しく思いました。

久しぶりにお会いする皆様でしたが、青春時代の2年間、苦楽を共にした仲間です。直ぐに打ち解けて、タイムスリップし、和気藹々とした雰囲気の中で大いに語り、笑い、楽しいひと時を過ごす事が出来ました。外見は変わってしまいましたが、心根は昔のままです。うれしいですね。

仲間の中に都会人がいて、田舎者には眩しく、羨ましく思えたものです。そんな話題から、恋の話して盛り上がり、ウブな私達の青春時代に思いを巡らしました。また、アクティブな方々が多く、登山やバンド活動も活発でした。



カミングホームデー 衛検 2回生

高速道が開通すれば秋山郷が秘境ではなくなると知るや、その地に出掛け、苗場山登山もしました。苗場山は名の通りに、山頂には池塘が多く、初めて見た私は、別天地の感動を覚えたものです。私の山好きの原点は此処にあります。また、卒業旅行の伊豆・大島の帰路の欠航ハプニングも今では楽しい思い出の一つです。クリスマスパーティーも盛大でしたね。芸人が多かった。

校舎は古びておりましたが、先生方の教えと我々の学びの情熱が繋がっていたように思えます。素晴らしい環境下で勉学に勤しむ事が出来た事を、今では誇りに思います。

各自の来し方を伺い、笑い、涙、感動ありで、これからの生き様を心に刻む事も出来ました。

仲間の中には親御さんの介護に追われ、外出も儘ならない方もいます。その方々にエールを送るとともに、各人も健康に留意して、良い人生を送られる事を願っております。

この会の後に、吉澤さんが北信メンバーに声を掛け、5人で集まったとの事。私も皆様との再会を待ちわびています。

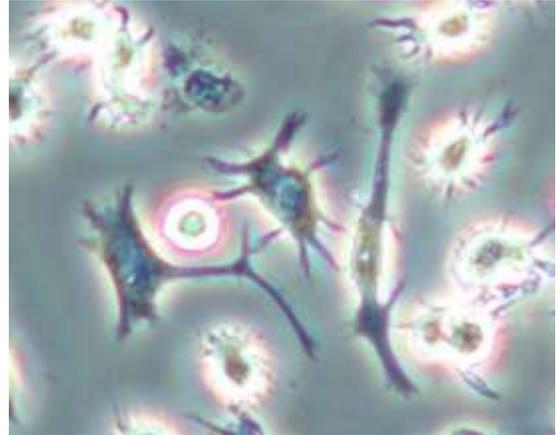


（福嶋幸代記）

樹状細胞を用いたがん免疫療法

皆さんは、樹状細胞をご存知ですか？ 樹状細胞とは、その名のとおり細胞表面から木の枝のように突起を出しているのが特徴の白血球系の細胞です(写真)。白血球中に占める割合は極めて少なく1%以下といわれています。

樹状細胞は、敵を見つけるとマクロファージと同様に貪食します。その後、細胞内で敵を消化し、数個のアミノ酸配列（ペプチド）までに断片化し（抗原）、それを認識して細胞表面に目印として提示します。抗原認識した樹状細胞は、その後T細胞の集まるリンパ節へ移動し、そこでT細胞に敵の抗原を教えます。樹状細胞から教育を受けたT細胞は、その抗原を持つ敵めがけて攻撃を開始します。ご存知のとおり、免疫には体内への細菌やウイルスなどの異物が侵入してきたとき、即座に駆けつけて戦う非特異的免疫（自然免疫）と敵の特徴を捉えてから、その敵を集中的に



攻撃する特異的免疫（獲得免疫）がありますが、樹状細胞は非特異的免疫と特異的免疫の橋渡しをし、T細胞に敵の目印を教える優秀な教官の役割を果たすのです。

この働きを利用したのが、「樹状細胞を用いたがん免疫療法」です。体外で作製した樹状細胞に、がんの目印を覚え込ませて体内へ戻し、患者体内のT細胞に教育させ、がん細胞を狙い打ちさせようというものです。

まず、患者から成分採血をして単核球分画を取り出します。そこからさらに単球を取り出しサイトカインを加えて培養すると、未熟な樹状細胞に分化します。その未熟な樹状細胞にがんの目印（がん抗原）を加えさらに培養すると、抗原認識した成熟樹状細胞になります。これを患者体内へと戻します。加えるがんの目印は、人工的に作られたがん抗原や、患者自身のがん細胞を利用します。

このように説明するととても簡単なようですが、体外で作成した樹状細胞を患者体内へ戻すのですから、どこでもできる治療法というわけではありません。医薬品としての安全性を保障するためのGMP（Good Manufacturing Practice）基準を満たすために特別な施設が必要ですし、熟練した作製技術も必要です。

信州大学医学部附属病院では、平成18年12月に先端細胞治療センター（CPC：Cell Processing Center）が開設されました。信州大学の中期計画である再生・細胞医療の推進に沿った事業計画が遂行され、形成外科による間葉系幹細胞を用いた骨・軟骨再生、松本歯科大学との提携による顎骨再生が行われています。平成20年11月からは樹状細胞を用いたがん免疫療法を開始し、翌年には「分子細胞治療室」が発足しました。平成22年12月までに147例に樹状細胞療法を実施しています。

現在、樹状細胞の培養・品質検査・免疫応答に関する検査を担当しているのは、後藤孝文（保3期生）、高橋香織（保4期生）と私との3名です。まだまだ歴史の浅い治療法で未知なことが沢山ありますので、日々のルーチンワーク以外にも研究に取り組みひとつひとつ解明していくことを目標に日々頑張っています。

樋口由美子（短16回生）

松本便り



橋がない・・・。

信大キャンパスとアルピコ自動車学校（旧長野県松本自動車学校）の間にある橋「曙橋」が、耐震基準を満たしていないため架け替えられることになり、昨年12月に取り壊されました。

昭和38年に架けられた旧曙橋は、歩道が下流側しかなかったり、道幅が狭かったりとあまり便利な橋ではありませんでしたが、学校帰りに自動車学校に行ったり、酒屋にビールを買いに行ったりした思い出の橋がなくなるとちょっとさみしい・・・。

現在は自動車を通る仮設の橋が上流側に1つ、歩行者・自転車用の橋が下流にできています。

ニュー曙橋は、今年の12月くらいに出来上がる予定だそうです。上・下流両方に2.5mの歩道ができて、道幅は7mに広げられるらしいです。どんな橋が架けられるのか楽しみです。



曙橋は跡形もなく。



在りし日の曙橋。

こじ記

～松本の魅力を求めて三千歩～

皆さん、お久しぶりです。『こじ記』も早いもので3年目を迎えました。今年はどんなお店のご飯を紹介してくれるの？・・・なんて思われた方も多いかと思いますが、食べ物だけが松本の魅力ではありません。皆さんもご存知ですよね。そこで、今年は四季折々で違う顔を見せてくれ、誰もが足を運んだことのある『アルプス公園』に行き参りました。



東入口

新規オープンした「山と自然博物館」は、1階と2階で松本の四季の身近な自然と人とのかかわりを楽しく学ぶことができ、5階には360°眺望することのできる無料の展望室があります。北アルプスをはじめとする山々の壮大さを改めて感じる施設になっています。

アルプス公園は、1974年に開園し、アスレチック、小鳥と小動物の森、マレットゴルフ場などからなる総合公園で、2007年5月3日に松本市制100周年の記念事業として、「山と自然博物館」がオープンし、従来の入り口（南）のほかに、**東と北に入り口**を設けるなど、総面積を71.1haに拡大しました。



まきば山荘

さて、皆さんはどんな思い出が残っていますか？園内中に咲く桜の下での**お花見**、焼肉ジンギスカンの**まきば山荘**、大人なのにチビっ子に負けまいと、はしゃいでしまったアスレチック、ふれあい広場でのヤギやヒツジとの触れ合いや猿山の楽しさを知った**小動物の森**、スリル満点の**ドリームコースター**・・・挙げはじめたらキリがないくらい様々な思い出があるのではないのでしょうか。



山と自然博物館

昔から変わらずに残っている自然の雄大さ、動物のあたたかさ、子供の頃に戻れる楽しさなど、多くの魅力に満ち溢れているアルプス公園。学生時代を思い出しながら自然と触れ合ってみてはいかがでしょうか。きっと体がウズウズしてくると思いますよ。



小動物の森



ドリームコースター

卒業生の進路



保健学科5期生 卒業生35名 (H23年3月卒業) H23年2月15日現在 () 内人数
就職: 25名

長野赤十字病院(1)、JA長野厚生連佐久総合病院(2)、松本市立波田総合病院(1)、飯田市立病院(1)、長野県立病院機構長野県立木曽病院(1)、市立甲府病院(1)、高崎市保健所(1)、亀田総合病院(1)、静岡県立病院機構(1)、聖隷福祉事業団(1)、春日井市民病院(1)、知多市民病院(1)、豊橋市民病院(1)、豊橋メイツ睡眠障害治療クリニック(1)、浜松医科大学医学部附属病院(1)、国立病院機構近畿(1)、近畿大学医学部附属病院(1)、宮城県立病院機構(1)、諏訪マタニティークリニック(1)、鳥取県立中央病院(1)、新潟県厚生農業協同組合連合会(1)、日光市立病院(1)、アロカ株式会社(1)、株式会社JMS(1)

大学院進学: 9名

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻(博士前期課程)(5)、信州大学大学院医学系研究科医科学専攻(修士課程)(1)、東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻(修士課程)(1)、名古屋大学大学院医学系研究科医科学専攻(修士課程)(1)、九州大学大学院医学系学府医療経営・管理学専攻(専門職修士課程)(1)

大学院医学系研究科前期課程保健学専攻3期生 修了生5名 (H23年3月修了、内社会人4名)

就職: 1名 慶應義塾大学病院(1)

事務局からのお知らせ

カミングホームデー

平成23年の該当は、卒後20年が短大16回生(平成4年3月卒)、卒後40年が衛5回生(昭和47年3月卒)です。臨嶺会として補助、協力(例えば構内見学など)をいたしますので、同級会を開催し旧交を温めてください。昨年・一昨年に卒後20年・40年を迎えられ、これから同級会を開催する学年につきましても補助をしますのでご連絡ください。

会費未納の方へ

臨嶺会は皆様の会費により運営されております。平成23年2月現在で会費未納の会員には未納金額のお知らせを同封してあります。会費の納入にご協力をお願いします。振込用紙の通信欄に衛・臨・短何回生、会員番号を必ず記載してください。
振込先 ゆうちょ銀行
口座番号「00520-0-20187」
加入者名「臨嶺会」

なお、保健学科卒業生は保健学科同窓会にご納入ください。

臨嶺会ホームページがリニューアル

信大医学部保健学科同窓会のホームページがリニューアルされました。それに伴い臨嶺会もいままでのPDF版から刷新しました。是非、ご覧ください。各ホームページのURLは下記の通りです。

保健学科同窓会ホームページ

<http://www.mhoken.jp/>

臨嶺会ホームページ

<http://www.mhoken.jp/rinreikai/>

求人・求職情報

事務局に求人、求職情報をお寄せください。
☆ 勤務施設で臨床検査技師を募集している
☆ 臨床検査技師として復職・転職したい等のご希望をお持ちの方などご一報ください。

卒業後の証明書申し込み方法

卒業証明書、成績証明書等の申込みは、郵送および窓口のみの受付となります。詳細は「信州大学医学部」ホームページの「卒業生の方へ」の「卒業証明書発行について」をご覧ください。

<http://www.shinshu-u.ac.jp>

[/faculty/medicine/alumni/certificate.html](http://faculty/medicine/alumni/certificate.html)

事務局への連絡方法

改姓・住所・勤務先等の変更が生じた場合は、必ず事務局へご連絡くださいますようお願いいたします。方法はメール、ハガキ、封書いずれでも結構です。

お詫びと訂正

臨嶺会会報第30号(2009年春発行)の特集「臨嶺会の歩み」の記載に誤りがありました。謹んでお詫びさせていただくとともに、下記のように訂正させていただきます。

訂正箇所: 第30号2頁中段

【誤】

2000年9月 第12回同窓会総会
臨嶺会へ名称変更

【訂正】

1996年2月 第11回同窓会総会
臨嶺会へ名称変更

2010年のできごと

- 1月24日(日) 信大大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程設置に伴う記念講演会
東京大学大学院教育学研究科長・教育学部長 武藤芳照先生「健康スポーツ医学の実践と教育」
- 2月10日(水) 待遇対策セミナー（3年生対象、臨嶺会として支援）
- 3月21日(日) 信大松本地区卒業式・学位記授与式
- 4月8日(木) 信大入学式 医学部保健学科8期生、医学系研究科保健学専攻 博士前期課程4期生・博士後期課程2期生入学
- 7月25日(日) 信大医学部保健学科のオープンキャンパス
- 12月8日(水) 信大医学部及び附属病院に対する環境ISO14001 認証拡大審査に合格
信大全校で ISO14001 認証取得を達成、医学部附属病院を持つ大学での取得は全国2校目、大学規模としては日本一



2月12～28日 第21回冬季五輪バンクーバー大会 スピードスケート女子団体追い抜きで小平奈緒さん(信大卒、相澤病院)らが銀メダル獲得

- 12月8日(水) 就職・進学支援セミナー（2・3年生対象、臨嶺会として支援）
講師；渡辺達男さん（長野県健康づくり事業団、臨2回生）
赤羽貴行さん（安曇野赤十字病院、短14回生）
後藤孝文さん（信州大学医学部附属病院、保3期生）
山田哲司さん（聖隷福祉事業団 聖隷三方原病院）



編集後記

31号より復活しました近況報告。皆さんはどんな感想を持たれたでしょうか？今回は字数も400字程度までと拡大し、当初、編集会議では、その内容が興味深いものであれば、取材させていただこうと考えておりましたが、かなりのボリュームとなってしまったため、今回号では保留とさせていただきます。また、写真も一緒に付けていただいた会員の方々、ありがとうございました。写真が加わると印象もかなり違って非常に面白いと思います。次号ではもっと多くの会員が写真を掲載して下さいを期待します。

信州大学医学部保健学科同窓会ではHPを立ち上げており、臨嶺会のサイトも閲覧できます。会報（PDF）も見れます。32号からはカラーで載せる予定ですので、皆さん是非ご覧になって感想を聞かせてください。“信州大学医学部保健学科同窓会 臨嶺会” 検索 します。

編集委員会では、常時、特集記事を集めています。何か興味深いことがありましたら、是非ご一報下さい。

最後に恒例のオペラの宣伝です。まつもと市民オペラ第3回公演、今回はW.A.Mozart「魔笛」です。まつもと市民芸術館主ホールにて2012.01.22 14:00開演です。まだ1年くらい先ですが、ご都合の宜しい方、興味のある方、是非ご来場ください。

<http://www.matsumoto.city-opera.jp/ivent.html>
(2011.2 石川伸介)

臨嶺会会報 第32号

臨嶺会会長	奥 村 伸 生
事務局	寺 澤 文 子
	小 穴 こず枝
	亀 子 文 子
編集委員会	石 川 伸 介
	川 崎 健 治
	久保田 聖 子
	沖 村 幸 枝
編集協力	赤 羽 昌 子
	小 嶋 俊 介

印刷 株式会社プラルト

臨嶺会事務局

〒390-8621 松本市旭3-1-1
信州大学医学部保健学科検査技術科学専攻
Tel. 0263-37-2387 (ダイヤルイン)
Fax. 0263-37-2370 (保健学科事務部)
e-mail kensa@shinshu-u.ac.jp
臨嶺会ホームページ
<http://www.mhoken.jp/rinreikai/>